

アイメディ・オルソケー®処方手順

- 基本的に一般コンタクトレンズと同一手順で行います（角膜形状解析図は必要に応じ）。その中で、本レンズを処方するために必要なデータは角膜曲率半径測定値と矯正視力です。
- 次は初診日診療記録から抜粋した角膜曲率半径測定と屈折検査（矯正視力）です。

表 1 角膜曲率半径測定

	R1	R2	Ave
右眼	7.76	7.57	7.67
左眼	7.77	7.56	7.67
※ 検査機器によって、R1 は H 又は K1 に、R2 は V 又は K2 に表記します。			

一般コンタクトの場合 Ave 値でレンズを選ぶが、アイメディ・オルソケーは最もフラットな角膜曲率半径測定値を用いてレンズを選択します。オルソケーは角膜の曲率をよりフラットにし、裸眼視力を改善する目的で処方するからです。Ave 値でアイメディ・オルソケーのフィッティングを決めると、矯正効果は早く現れるかも知れませんが、途中で視力矯正効果が後退し新しいレンズに交換する必要があるかも知れません。

表 2 屈折検査（矯正視力）

右眼 = 0.3 (1.5 x S -2.0 C Ax)
左眼 = 0.1 (1.5 x S -4.0 C Ax)
両眼裸眼視力 = 0.15 両眼矯正視力 = 1.5

一般コンタクトのようにレンズのパワーを選ぶことも可能ですが、患者の肉眼で見える力を確認できる屈折検査の S でオルソケーレンズのパワーを選ぶように勧めます。

- 上記検査から角膜曲率半径測定の「R1」と屈折検査（矯正視力）の「S」で処方するレンズを選びます。（R2 の数字が R1 の数字より大きい場合、それは縦乱視を意味し、慎重に判断します。処方をする場合は R2 の数字を利用しレンズを選択します。）
- 角膜曲率半径測定の R1 はフィッティングの BC を（右眼 7.76mm、左眼 7.77mm）示します。
- 屈折検査（矯正視力）の S は Target Power（右眼-2.00D、左眼-4.0D）を示します。
- トライアルレンズの中で、右眼に「BC7.76、TP-2.0」のレンズを、左眼に「BC7.76、TP-4.0」のレンズを選び患者に目を閉じた状態でテスト装用します（15分～60分以上）。
（トライアルレンズは、7.26～8.88mm まで 0.08～0.11mm のステップで構成されています。左眼 R1 の 7.77 のレンズはないので一番近い数字のレンズ 7.76 を選びます。）
- アイメディ・オルソケーレンズは非殺菌のドライ状態で納品・保存されるので、使用する前に必ず消毒・洗浄を行ってください。

- テスト装用後、Slit でフィッティング検査を行います。
- 患者にレンズを渡し、夜間装用するようにします。翌朝又は1週間以内に再検査を行います。
- レンズを渡すときは、「取扱説明書：使用上の注意」も渡し、また定期検査のスケジュールを守るように教育します。

表 3 角膜曲率半径測定及び処方レンズ

<R> S C A 2.25 - 0.50 15 - 2.25 - 0.50 13 - 2.25 - 0.50 5 <- 2.25 - 0.50 13> mm D deg <R1 7.76 43.50 177> <R2 7.57 44.50 87> <AVE 7.67 44.00 > <CYL - 1.00 177> <L> S C A - 4.25 - 0.50 166 - 4.25 0.50 167 - 4.25 - 0.50 166 <- 4.25 - 0.50 166> mm D deg <R1 7.77 43.50 7> <R2 7.56 44.75 97> <AVE 7.67 44.00 > <CYL - 1.25 7>	アイメディ・オルソケー PG 15 Blue BC : 7.76 TP : - 2.00 PWR : + 1.00 DIA : 10.5 LOT : J xxxxxxx-xxxxx 製造販売元： (株) アイメディ商事 埼玉県朝霞市 承認番号 22800BZX00171000 高度管理医療機器	アイメディ・オルソケー PO 15 Blue BC : 7.76 TP : - 4.00 PWR : + 1.00 DIA : 10.5 LOT : J xxxxxxx-xxxxx 製造販売元： (株) アイメディ商事 埼玉県朝霞市 承認番号 22800BZX00171000 高度管理医療機器
	(右眼用レンズ)	(左眼用レンズ)
角膜曲率半径測定	「BC」と「TP」で患者に渡すレンズを注文します。	

以上

